

～『家族で沖縄！ゆいまるあるの旅』～を終えて。 笑顔のキャッチボールで繋がり、「ひとつ」になりました。

「3・11東日本大震災」で被災した宮城県七ヶ浜町、家族50人とボランティアスタッフの
～『家族で沖縄！ゆいまるあるの旅』～（2012年4月25日（日）～4月27日（火）/2泊3日）



撮影：U-SKE/SlowSurf Yoshi

「水・空・人・海の学校プロジェクト」は、「3・11東日本大震災」以後、東北支部（宮城県七ヶ浜町）で、ボランティア活動を続けております。

2010年、第一回「海の学校 IN MIYAGI」イベントが開催された七ヶ浜町沿岸部は瓦礫と化した、青い海と空と笑顔で溢れた萬葉田浜は、コンテナで埋め尽くされていました。その現実にはスタッフは言葉も失い、長い支援と繋がりを強く意識しました。

2011年4月「救援物資の搬入と現地ボランティア参加」、七ヶ浜復興応援イベント、2011年7月「夏まつり～Wa-Syoi～七ヶ浜の夏」、2011年12月「親子支援・HappySmile未来Project」、2012年3月「家族で沖縄！ゆいまるあるの旅」と繋がってきました。

昨年より多くのイベント、企画に協力、また協賛していただいた。

「株式会社アドヴァンシング」代表取締役・基 利枝子氏に、今回の『家族で沖縄！ゆいまるあるの旅』を終わった感想、また今後の企画等をインタビューさせていただけます。

併せて、今回の企画に同行しボランティアとして参加して下さった社員の方々のコメントも掲載させていただきます。

「家族で沖縄！ゆいまるあるの旅」企画：「海の学校 IN MIYAGI」/企画・協賛：「株式会社アドヴァンシング」/協力：NPOレスキューセンター
シーフードビーター・ピーチ、H.I.S.、セブの海遊館、海の学校、共済NPO「遊」、海神リゾートSurfShop-dshop

—「家族で沖縄！ゆいまるあるの旅」は、避難生活の予備（保護者）に、心も身体も元気ななってもらいたい！との願いから企画したと聞きましたが・・・

基 今回、このような旅の機会をいただき大変感謝しております。
「海の学校 IN MIYAGI」の角田 恵さん他スタッフの方々と相談し、この企画を実現する事ができました。避難所の一帯でも、被災し避難している人達が、心と身体を癒し、自然と沖縄の人の温かさ、文化に触れ、癒されてもらいたいと思い、提案させて頂きました。
帯同スタッフ、地元・沖縄のボランティア、また沖縄向きの高校生達は親身になってサポートしていただき、改めて感謝しております。

—七ヶ浜、沖縄、大阪・・・人の繋がりができただけですね。

基 私は勿論ですが、同行した社員一同、沖縄での子供達の笑顔が何よりも嬉しく、掛け替えない時間を過ごし、気持ちが「ひとつ」になったと感じております。
「笑顔のキャッチボール」で繋がったような「思い」です。

—ところで、基さん自身、また同行した社員の方々の沖縄ツアーの感想は？

基 私も、社員も沖縄を十分楽しみ、元気をもらいました（笑）。

—今後のプランがありましたら聞かせてください。

基 「3・11東日本大震災」で辛い経験をし、日々、未来への「不安」から、自分の殻に閉じこもり、上手く思いを伝えられず悩んでいる人達が大きいと思います。

今後は、さらに「心のケア」が大切になってくると思います。
私自身の力は微力ですが、少しでも何かの役にたてればと考えています。

—何か具体的なプランがありますか？

基 私は、一緒に「物づくり」ができませんか？と聞いています。「雇用」も含め、「雇用」は、

—今、被災地に一番大切な事ですね。「雇用」は、

—「3・11東日本大震災」以後、被災地へ頻りに出かけ、ボランティア活動をしていますか、何かキッカケはありますか？

基 私は「阪神・淡路大震災」を、神戸から仕事先の大阪へ引っ越した翌年に経験しました。家族、親族は神戸住まいだったので、震災の当日、全壊した家を見て、避難所を廻り必死に家族を探した記憶があります。家族、親族全ての無事を確認し、ホッとする間もなく、仕事で大阪に戻りました。
何も出さなかった自分もありましたし、仮設住宅での辛い経験を見てきたこともキッカケになっていると思います。

—株式会社アドヴァンシングHP上に、「こだわり」は、オリジナルティーを追求し、価値の創造を追求、女性スタッフによるお客様の視点にたった温かな企画、徹底したモニタリングと裏付けのデータ化、また信頼出来るプロの技術と物づくりがあります。
企業理念を聞かせていただけますか。

基 当社商品の「リピーターNo.1」を目指しています。
お客様の視点に立つて考え、良いものを着用してほしいと思っています。
安価せず改良に改良を重ね、より良い商品を作るため、社員、工場とは風気調々に意見を聞かせますので、嫌われています（笑）。

—でも、一緒に良いものを作っていくことで分かってもらっています。チームワークですね。きっと、お客様には、当社商品の「ファン」になってほしいですね。

—そこまで「こだわり」がありますと、お客様も安心して着用し、人に薦められますね。

—「阪神・淡路大震災」「3・11東日本大震災」以後、多くの若者がボランティアに参加しております。

若者達への「応援メッセージ」を一言お聞かせいただけますか？

基 今回の「家族で沖縄！ゆいまるあるの旅」でも感じましたが、人と人の繋がりを大切に、自然に優しく、ボランティアの純粋な気持ちをもって、大人になっ



—今回の「家族で沖縄！ゆいまるあるの旅」に、若い社員の方10名がボランティアで参加したと聞きましたが、帰阪後何か変化はありましたか？

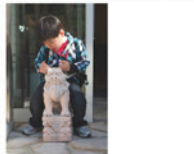
基 掲載されていたコメントのように、同行した社員もこの旅に感銘を受け、被災地に足を運びたいと感じている方もおります。

早速、自分達の「企画」が上がってき、びっくりしています（笑）。

—今回の「家族で沖縄！ゆいまるあるの旅」企画は、私達「海の学校」スタッフにも、また社員の方、沖縄の方々にも、思い出さず考えさせられる旅になったように思います。
若者には、チャンスを与え、失敗を恐れない気持ちをもっとほしいと感じます。

「家族で沖縄！ゆいまるあるの旅」及び各イベントへのサポート、協賛ありがとうございました。

(後編)



株式会社アドヴァンシング
＜東京内ヶ谷区＞東横田駅前ビル 6F
〒146-0011 東京都中央区東横田1-21-31 03(6)42-6447
Tel:06-6945-6602 Fax:06-6945-6648
http://www.advancing.co.jp/